



じ めい けん りょく 自 明 健 力

有銘幼稚園・小学校
学校だより 第18号
令和6年1月11日(木)
文責：園長・校長 前川恒久

明けましておめでとう！3学期のスタート



1月9日(火)3学期スタートの日。登校してきた子どもたちの表情と会話からは、楽しい冬休みを過ごした様子が伺えました。登校時に「明けましておめでとうございます！」に加えて、「今年もよろしくお願いします！」と大人びた挨拶をしてくれる子も多く、アルメンジャーの素直さを改めて感じることができ、清々しい新学期のスタートとなりました。始業式が始まる前には、令和6年能登半島地震で亡くなられた方や被災者の皆様へ黙祷を捧げました。

始業式ではまあるさんのピアノ伴奏に合わせた校歌斉唱にはじまり、2年生のたいむさん、1年生のけいとさんの力強い新年の頑張りたいことを聞くことができました。

校長の私からは、子どもたちに「挑」の文字のお話をしました。「挑」という字は、未来を予兆させる「兆」に才(手へん)を添えて、これから起こり得ることに気づき、それに対して、自ら手立てをもって立ち向かう様子を表す漢字です。予測困難な時代を生き抜くための「力」を子どもたちがつけられるようになりたいものですね。

年のはじめに・・・餅つき、書き初め、凧づくり



始業式と同日、校内で収穫したもち米を使った餅つきを行いました。初めて経験する子もおり、全員が杵を振りました。餅つきの場にあわせて、比嘉教育長より、大谷翔平選手寄贈のグローブの贈呈がありました。放課後、早速、キャッチボールを行っています。